



「発達障がいサポーター講座」第15回

2025年3月3日(月) 19:00～20:30

場所: 明德児童館 2階 遊戯室

対象: どなたでも

申込: 前日まで(電話申込可: 明德児童館 075-708-8834)

大人になってから発達障がいと診断を受けた方々が、子育て世代となった時、どのような悩みや困り、苦労があるのでしょうか？

多く子どもたちを診てこられた小児科医のお話と、当事者の方々の体験談を聴き、発達障がいへの理解を深められたらと思います。

《今回のゲスト》

小児科医 有井悦子先生

長く診療を続けてこられました。予防と早期手当をめざし閉院。
子ども・保護者・支援者への手立てを、地域の方々と協働したいと、
地域に出向いてくださるお医者さんです。

子育て奮闘中 当事者 尾川歩さん

発達障がい当事者。

2024年に出産し、ただ今、7ヵ月のお子さんの初めての子育て真っ最中！

…発達障がいサポーター講座について…

この講座は、2014年に「そらまめプロジェクトKYOTO」の協力で、第1回を始めました。「発達障がい」と言っても、その特性は多様です。発達障がいのある人は、どんな場面で、どんな困り事を抱えているのでしょうか。どんな配慮や手助けがあればよいのでしょうか。皆と一緒に勉強して、一緒に話し合い、発達障がいについて理解を深めましょう。

地域子育て支援基幹ステーション

《申込・お問い合わせ》 明德児童館 Tel 075-708-8834

明德児童館では、2014年12月から
「そらまめプロジェクトKYOTO」の
協力で、“発達障がい”をテーマとした
勉強会を定期的を開催してきました。

発達障がいの特性があり、学習や生活の面で特別な教育的支援を
必要とする子どもは、最新の調査では8.8%程度いるとも言われ
ています。

近年は子どもだけでなく、大人の発達障がいの課題も話題に
なっています。

「さまざまな個性を認め合い、支え合えたら、
だれにとっても暮らしやすい街になる。」

発達障がいがある人、その家族、関わる私たちの日々の悩みや喜びを、
地域の方々と共有して「福祉力」に変えられたらいいなあ・・・」
そんな願いをもって、このサポーター講座を企画しています。

今回のサポーター講座は・・・
ゲストの小児科医からのミニレクチャーで、
発達障がいについて、基本的な理解をした後、
当事者の体験談を聴いて、具体的な悩みや不安を知り、
その後は、みんなでわいわいがやがや、話し合しましょう。
子ども時代には「発達障がい」という認識がなく、
大人になってから診断を受けた方々が、子育て世代となり、
我が子と向き合い、
また、幼稚園や保育園の先生、子育て仲間とおつきあいなど
子どもを真ん中に多くの人との関わり、
人間関係の渦の中を渡っていかなければならない時、
どんな渡し船があるといいのでしょうか？
子育て奮闘中の当事者の思いを聴いて、
みんなで考えていけたら、と思います。

館長：西尾久美